

POST CARD



大正浪漫百年記念

竹久夢二・末廣博子二人展

大正ロマン&書アート

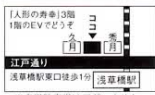


末廣先生ご来場日
10月2日・3日・6日
8日・9日・13日
15日・16日
午後1時～6時迄

会期/平成23年10月2日(日)～16日(日) ※AM11:00～PM7:00 会期中無休
会場/ギャラリー・アートプラザ (総武線・都営浅草線 浅草橋駅東口徒歩1分 寿幸ビル3階)
レセプション/10月2日(日)午後3時より～ (ゲスト/女優・磯村みどり他 多数来場予定)

主催/NPO法人 日本美術文化普及協会 協賛/株式会社トライウイン

ギャラリー・アートプラザ
NPO法人 日本美術文化普及協会
〒111-0052 東京都台東区柳橋1-20-4
寿幸ビル3階
TEL.03-3864-1302
http://galleryartplaza.com



※専用駐車場はございません

In years of Taishou roman 100

Yumeji Takehisa & Hiroko Suehiro

Art works Exhibition 2011



竹久夢二
「雪の風」木版



末廣博子
「愛ありがとう」Sho(書)

竹久夢二・略歴/明治17年岡山県に生まれる。明治後期より流行挿絵画家として活躍。大正期には西洋からの様式・風習を昇華し、大正浪漫と呼ばれる最先端の流行を牽引し、大衆から絶大な支持を得る。純然たる美術絵画界とは一線を画し、文壇・歌壇などとの交流が深く同時期の大家と多くの合作を残す。夢二の大衆美術に対する柔軟性は、現在でも忘れ去られることなく人気を維持している事からも窺える。そのため、このたびの「時空を超えた現代作家とのコラボレーション」もなんら違和感なく期待を持たせる。夢二他界は昭和9年、最後の言葉は結核との闘病の末、看護を受けた人々への「ありがとう」であった。

末廣博子・略歴/横浜市出身。伝統書道歴50年、古典の臨書を中心に学ぶ。日本の書を海外へ伝えたく、独自のSho(書)アートを考案。海外の方にも理解できる文字表現を確立。個展をはじめパフォーマンスにより墨文字の楽しさを伝え「文字に生命を吹き込むことの出来るアーティスト」として高い評価を受ける。

毎日書道展入選7回/日中文化交流巡回展・審査員優秀賞/北京国際芸術博覧会・銅賞/モナコ政府よりマルセルバニョール賞受賞ほか、アートエキスポ等国際舞台で注目される。英国ロイヤルオペラ座プログラム広告に「舞」作品起用/飛鳥IIクルーズにて書パフォーマンス・指導5回/救心製薬コマーシャル出演中/台湾のカーナビ会社が作品「愛ありがとう」を最新液晶画面に採用。香港・韓・中でも話題に!

大正浪漫百年記念

竹久夢二・末廣博子二人展

大正ロマン&書アート